化学変化と質量の比 一部だけ反応したとき（8問）　版Aの答え

※ ふえた質量が結びついた酸素です。酸素の質量から比で反応した金属を求め、加熱前の質量から引きます。

---

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 1.6 g を加熱したところ、加熱後の質量は 1.76 g になった。

まだ酸素と結びついていない銅は何 g か。

＝ 0.96 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 15.2 g を加熱したところ、加熱後の質量は 16.15 g になった。

酸素と結びついた銅は何 g か。

＝ 3.8 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9 g を加熱したところ、加熱後の質量は 13.5 g になった。

酸素と結びついたマグネシウムは何 g か。

＝ 6.75 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 10.2 g を加熱したところ、加熱後の質量は 12.92 g になった。

まだ酸素と結びついていないマグネシウムは何 g か。

＝ 6.12 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9.9 g を加熱したところ、加熱後の質量は 13.2 g になった。

酸素と結びついたマグネシウムは何 g か。

＝ 4.95 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 13.5 g を加熱したところ、加熱後の質量は 17.1 g になった。

まだ酸素と結びついていないマグネシウムは何 g か。

＝ 8.1 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 14.4 g を加熱したところ、加熱後の質量は 16.2 g になった。

酸素と結びついた銅は何 g か。

＝ 7.2 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 15.2 g を加熱したところ、加熱後の質量は 17.48 g になった。

まだ酸素と結びついていない銅は何 g か。

＝ 6.08 g